

毎週日曜発行
2022 6/26

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



「地震・雷・火事・おやじ」。「おやじ」はお父さんではなく、「大風（おやおやじ）」と呼ばれた台風との説もあります。世の中の怖いものを順番に並べた、江戸時代から伝わることわざです。

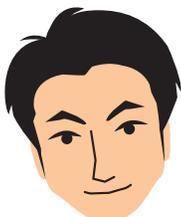
今回の「学ぼう防災」は、2番目に怖いと言われる「雷」です。雷は「電気」。空から電気を降らせるのは、夏によく見るモクモクと高い大きな

きょうのテーマ

おりはらアドバイザーの

学ぼう 防災

25



雷から身を守るには

① 天気予報をチェック

- 大気の状態が不安定
- 天気が急に変わる
- 雷雨
- 雷注意報

などの言葉があったら注意

② 積乱雲をチェック

- 黒い雲
- 冷たい風

は雷を起こす積乱雲のサイン

③ ゴロゴロ聞こえたら

すぐに建物や車の中へ

④ 建物の中でも

1m以上離れる

電化製品から離れた部屋の真ん中へ

近くにない時は

2m以上

45度

4m以上

音を聞いたたらすぐ建物に

夏に多く発生する雷

雲、「積乱雲」です。暖かい空気は、上へ上へと昇って行きますが、空に行くほど寒くなるので、水滴や氷の粒になって雲が生まれます。こうしてどんどん大きくなる積乱雲。この中で、氷の粒がぶつかり合ったりして、電気が発生すると考えられます。その電気が地面めがけて落ちてきます。「落雷」です。

雷はほんの一瞬ですが、エネルギーは1億ボルトにもなると言われます。これは100トンの電球をなんと90億個も光らせるほど強力。人に落ちたらひとたまりもありません。

外で確実に雷を防ぐ方法は、ありません。皆さんがもし、外にいる時にも雷の音を聞いたら、少しでも早く、建物や自動車の中に避難しましょう。

雷は7月から8月にかけて、多く発生します。ゴロゴロと鳴っているも、まさか自分に落ちてくるなんて、考える人は少ないかもしれません。それでも、毎年のように雷で人が亡くなっています。どんな災害も「自分は大丈夫」という気持ちを捨てて、身を守る行動をとることが大切です。

（仙台市防災・減災アドバイザー・折腹久直）

（仙台市防災・減災アドバイザー・折腹久直）

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇7月1日（金）山形新幹線開業30周年
1992年のこの日、山形新幹線が、在来線に新幹線車両が乗り入れる全国初のミニ新幹線として、福島ー山形間で開業したよ。99年12月には、新庄まで延伸されたんだ。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー